# 食による地域の魅力再発見事業費

#### 課題

平成25年12月、和食がユネスコ無形文化遺産に登録され、その価値が再認識される一方で、核家族化や外食化、地域社会の希薄化等により、子ども達を始め若い世代は、郷土食などの和食に接する機会が減少。

国の調査では、食文化を受け継いでいないと感じる人が3割超



#### 対 応

本県の特色ある郷土食等を「やまなしの食」として認定し、次世代に継承するとともに、食による地域の活性化、観光の振興につながる取り組みを行う。

また、第14回食育推進全国大会の開催を見据え、郷土食等を再評価する気運を高め、県民の食育についての理解を深めるとともに、本県の魅力的な食を県内外に広くPRする。

### 事業の概要

## ステップ1 「食」**を知る!**

やまなしの郷土食、 特色ある食文化の魅力を掘り起こす。

### 郷土食等実態調査の実施 (H29に先行実施)

本県の郷土食等について、地域、歴史(由来)、栄養、効能、継承に取り組む団体・個人、提供店舗等の実態を調査する。

#### 「やまなしの食」育み会議の開催

郷土食等を「やまなしの食」として認定するとともに、継承活動を行う「食の伝承マイスター」を認証するため、専門家による会議を開催する。

# ステップ2 「食」を学び・ 継ぐ!

やまなしの食を学び、 継承するための取り 組みを推進し、地域 の活性化を図る。

# 後世に残したい「やまなしの食」県民投票

「やまなしの食」について、県民に広く関心をもってもらい、その魅力を再認識することで、県民一体となった継承を図る。

### 「食の伝承マイスター」の認証

優れた技術や知識の継承に取り組む団体、個人を食の伝承マイスターとして認証し、県や市町村が行う食育関連事業等に積極的に活用する。

## 「やまなしの食」を考えるシンポジウム

「やまなしの食」を学び・継承し広めるため、講演とパネルディスカッションを 行うとともに、県民投票の結果や食の伝承マイスターを発表する。

#### 親子料理教室の開催

郷土食の歴史等を学ぶとともに、家庭で作る機会を確保するため、親子参加による料理教室を開催する。

#### 市町村等が実施する取り組みに対する支援

市町村等が実施する地域における食育推進リーダーの育成や郷土食等の継承に係る講習会の開催等に対し助成する。

## ステップ3

# 「食」を広める!

「やまなしの食」を広く 情報発信し、本県のPR、 観光振興を図る。

## クックパッド公式キッチンへの郷土 料理等のレシピ掲載

クックパッド「公式キッチン」に本県ページを開設し、 「やまなしの食」のレシピを提供する。

(H30)

第14回食育推進全国大会の開催準備

- ・実行委員会の開催
- ・第13回大会(大分県)への出展
- ・実施計画の立案、出展者の募集等



#### 第14回 食育推進全国大会

日時:2019年6月29日(土)30日(日)

会場:アイメッセ山梨等

「やまなしの食」のPR、県民投票の結果などを紹介

\* 関係部局が連携し、

「食」による地域の活性化、観光振興を図る。

# 食による地域の魅力再発見事業 年次別事業計画 (2018 (H30)~2020)

